

令和 3 年 6 月 25 日

大豆情報 第 1 号

J A む な か た
北筑前普及指導センター

～7月20日までに播種を終わらせましょう～

6月下旬から播種準備を整えて、7月上旬から天気を見計らって適期播種を行ってください。5月15日に梅雨入りしており、福岡管区気象台が6月17日発表の1か月予報は下の表のとおりです。大豆の播種適期に当たる7月上旬～中旬にかけては、降雨日が多くなると予想されています。播種の前に、できるだけ周囲溝を設置し、あらかじめ排水口とつなげておきましょう。

(1 週目) 6/19～25	(2 週目) 6/26～7/2	(3～4 週目) 7/3～16
前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もありますが、高気圧に覆われて晴れる日もあるでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

大豆栽培では、「適期に播種」することが重要です！ 「フクユタカ」の播種適期は7月中旬ですが、圃場の状態を見て、播種できる圃場では7月上旬に播種ができるよう、機械の点検、種子消毒などの準備をしておきましょう。

速やかに播種するためには、部分浅耕一工程播種を行うか、これから耕起する場合は、播種直前に行うようにしましょう。また、播種直後の冠水による出芽不良を避けるため、排水の良いほ場から順に播種するようにし、大雨が予想される場合は、降雨の1日前には播種を中断してください。冠水した圃場は、できるだけ早い排水をこころがけましょう。

1. 土づくりと施肥

- ★土づくりと施肥体系の見直しによって、高品質・高収量の大豆づくりをめざしましょう。
- ★問題点・・・JAむなかた管内の土壌では、有効態リン酸、カリ及び腐植（有機物）が少ない傾向。

★対策

- ①堆肥の施用、わらすき込みなどにより、根粒菌の活性化や地力向上を図りましょう。
- ②PKC30号(30kg/10a)または塩化カリ(15kg/10a)や粒状ようりん(20kg/10a)の施用により、リン酸とカリウムの供給に努めましょう。
- ③地力の低下しているほ場や、遅まきほ場では、大豆化成550(30kg/10a)を使用して下さい。

2. 播種

	播種時期	条間	株間	10a 当り播種量	播種深度
早播	7月 1日～10日	70cm	25cm	3kg	● 基準 3cm 土壌水分が多い
適期播	7月 11日～20日	70cm	20～15cm	4～6kg	→ 浅く 土壌水分が少ない
遅播	7月 21日～31日	70～50cm	15cm	8kg	→ やや深く (5～6cm)+鎮圧

3. 種子消毒

キヒゲン

乾燥種子重量の1%粉衣（種子10kgに薬剤100g）

キヒゲンR-2フロアブル

乾燥種子重量の2%塗沫（種子10kgに薬剤200ml）

4. 雑草防除

★ホソアオゲイトウ、ホオズキ多発圃場の防除体系例

大豆播種後出芽前
(7月上中旬)

大豆2～4葉期
(7月下～8月上)

大豆3～5葉期
(8月上中旬)

大豆6～8葉期
(8月中旬)

ラクサー乳剤
+フルミオWDG
土壌処理全面散布

アタックショット乳剤
※雑草茎葉散布
又は全面散布

中耕・培土

バスタ液剤
畝間散布

※ アタックショット乳剤は散布後、必ず薬害（一過性の葉の黄化症状）が発生

★アサガオ類多発圃場の防除例

大豆播種後出芽前
(7月上中旬)

大豆2葉期
(7月下旬)

大豆3～5葉期
(8月上中旬)

大豆6～8葉期
(8月中旬)

サターンバアロ乳剤
+フルミオWDG
土壌処理全面散布

大豆バサグラン液剤
※雑草茎葉散布
又は全面散布

中耕・培土

バスタ液剤
畝間散布

◎使用薬量、使用時期等は、こよみを参考にしてください。

◎稲に対する薬害があるので、水田に隣接している場合は飛散に注意して下さい。

クリアターン乳剤は、できるだけ播種当日に散布をし、遅くならないように注意して下さい。

5. ネキリムシ類の防除

夜に幼虫が地表に現れ、大豆幼根を地表付近で切断します。

〔対策〕: ネキリエースKを播種時～本葉2葉期に10a当たり3kg土壌表面株元処理します。

※誘引殺虫剤なので被害が発生してから散布して下さい。

施肥、生育期除草剤等については、大豆こよみを参照下さい。